

愛知医科大学病院では、岡崎市民病院と共同で、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 好発年齢を過ぎてからてんかん性スパズムを
発症した症例の検討

[研究責任者] 愛知医科大学病院小児科 奥村 彰久

[研究の背景]

てんかん性スパズムはウエスト症候群の特徴的な発作として知られています。ウエスト症候群に関しては、発作予後や発達についてこれまでに研究が進んでいますが、好発年齢(1歳の誕生日まで)を過ぎててんかん性スパズムを発症する症例の原因・治療・その後の発作や発達などについては十分な検討が行われていません。

[研究の目的]

好発年齢である1歳までの期間を過ぎてからてんかん性スパズムを発症した症例の特徴を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2006 年 1 月 1 日から現在までに岡崎市民病院・名古屋大学医学部付属病院・愛知医科大学病院で 1 歳を過ぎてから出現したてんかん性スパズムの診断や治療を行った症例。

●研究期間：臨床研究審査委員会承認日から西暦 2030 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より取得します。

- ① 患者背景情報および臨床所見（年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、発作頻度、発症から受診するまでの期間、他の発作型の合併の有無、発症までの発達の経過、退行の有無、急性脳症などの後天的な要因の場合はそのときの経過や画像所見など）
- ② MRI などの頭部画像検査の所見、脳波所見、行われている症例では遺伝子検査の結果
- ③ 外科的治療が行われている症例では病理学的所見
- ④ 治療内容（抗てんかん発作薬、ACTH 療法・ケトン食などの特殊治療、てんかん外科手術）
- ⑤ 治療反応性・予後（特に発作予後と発達予後）

●検体や情報の管理

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

岡崎市民病院との共同研究として実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

小児科 鈴木 健史

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913

[当院の問い合わせ先]

愛知医科大学 小児科学講座 教授 奥村彰久

TEL: 0561-62-3311

研究以外のことに関する連絡先

愛知医科大学 研究推進部 研究支援課 倫理委員会担当

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1